



ラーチャブルック ร่ำชมพูช

※「ラーチャブルック」はタイを代表する花、ゴールデンシャワーをタイ語で表現したものです。

校長 谷口 幸一郎

一か月を振り返って

「〇〇ちゃん came だよ」近くに越してきたお友達の初登校でしょうか、お友達を歓迎してクラスに迎え入れる子供たちのとっても微笑ましく思える様子です。この他にも始業前に教室を覗いてみると、友達と談笑しながら、タイピングの練習をしている子供、渡されたプリント学習をしている子供、サッカーをしている子供など、朝の子供たちの様子を見ることが出来ます。大分学校生活に慣れてきたなあと感じます。



今年は4月からのスタートに加えて、学習活動の制限がかなり解除されている関係で思い切った活動ができつつ



あります。そのような中で、昨年全くできなかった「**健康診断**」が行われています。「身長・体重」に加えて、視力、聴力、内科検診、尿検査などを実施していきます。子供たちは検査を受ける前に、動画を見て検査の受け方を学んでいます。どのクラスも**静かに廊下に整列して**順番を待っています。

先日は「**1年生を迎える会**」が実施されました。各学年が**クイズ、劇、ダンス、ミラーリング** (相手のやったことを同じように行う。) など工夫した出し物を考えていました。特に今回は**縦割りの学級ごと**に、活動をライブ配信で行い、1年生だけでなく他の学年も一緒に楽しい時間を過ごすことができました。



「**あ・ひ・る**」, これは、入学式で私が1年生にお願いしてきた合言葉です。「**あ**」はあいさつをするの「あ」、「**ひ**」はひとりですの「ひ」、「**る**」はルールを守るの「る」です。この1か月間、子供たちの様子を「あひる」に当てはめてみると、登校時には子供たちからの「あいさつ」は、あまりできない子が多いです。一方、あいさつをする子はとっても丁寧なあいさつができています。毎年、感じるのですが、自分から「あいさつ」のできる子供が減っているのではないのでしょうか。国内では、不審者の関係で自分から見知らぬ人に声をかけないなどの指導があり、あいさつをしないというのは分からなくないでもないですが、日本人学校ではあいさつをしっかりしてほしいと思います。2点目の「**一人です**」は、**とてもよくできています**。1年生でも「何かができない」と言って先生に泣きついてくる子供はいません。どの学年も自分のことは自分でできています。3点目の「**ルールを守る**」は、朝の



レインボーゲートでの整列、昼食の時に黙食、昼休みの遊びなど、学校で決められたことを**しっかりと守っています**。ただ、一部の子供たちの中でバストラ (バストラブル) がありました。コロナ感染症対策のため、バスの中ではおしゃべりをしないことが基本になっていますので、各家庭でもご指導を徹底してください。新年度は始まったばかりです。3年ぶりの充実した1学期になるよう努めてまいります。